



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>

日本共産党八千代市議団メール：[kyoasan@jcp-yachiyo.jp](mailto:kyouasan@jcp-yachiyo.jp)



第627号
2024年3月11日

発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5

緑が丘駅周辺の小中学校不足問題

緑が丘地域は、東葉高速線の開通とともに設置された八千代緑が丘駅を中心に二つの大規模土地区画整理事業による開発によって、人口が増加してきた街です。

しかし、当初計画されていた小中学校の設置は予定通りに行われず、ついに東葉高速線の北側に建設予定の大規模集合住宅の通学区域が遠く離れた西高津小学校に指定されるなど、問題がより深刻なものとなっていました。

小学校は新設、中学校は今年度末に？

八千代市は、住民の要求に押され、この問題にたいし「全庁的な体制により速やかに対応すべき課題と認識」として2022年4月に「西八千代地区小中学校等対策検討委員会」（以降「検討委員会」）を立ち上げ、6か月後には、小学校を新設する方針を定め、2026年度開校に向けて進めています。

一方で、中学校不足の問題について市は、「今年度末頃を目標に何らかの方向性は定まるよう努めている」と議会答弁しており、未だ方向性が示されていません。

どうなる？緑が丘地域への中学校設置

2月末に行われた3月定例議会の一般質問で日本共産党は、緑が丘地域の中学校設置について確認しましたが、「3月に検討委員会を実施し方向性を定める」というものでした。

しかし、その後に行われた会派自由民主党の一般質問では、現在進められている高津中学校の長寿命化改修の進捗に関する質問にたいして、教育長からは、「西八千代地区の中学校対策を検討している中で、高津中学校の増築も対応策の一つとして想定」と答弁、今まで通り、子どもたちを遠く離れた学校へ通わせる選択肢があることを匂わせています。

高津中学校の増築では問題は解決できません！

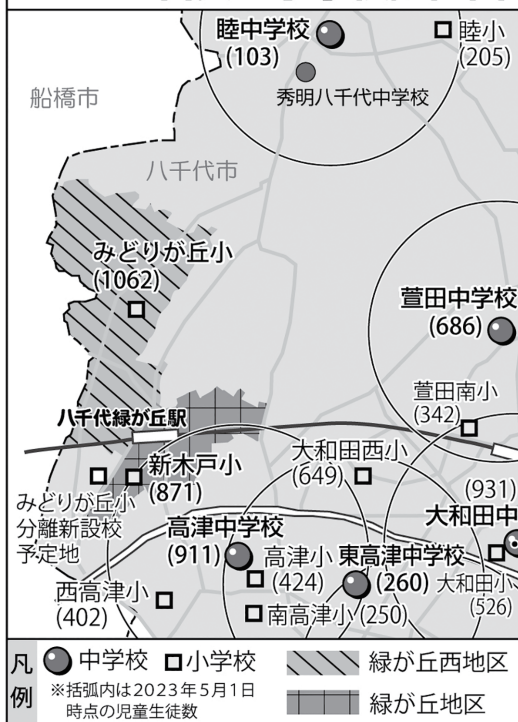
「高津中学校の増築は対応策の一つとして想定」とは言うものの、この方法では緑が丘地域に中学校が無いために西八千代地区の子どもたちは、雨の日も雪が降る寒い日も体調がすぐれない日も、遠く離れた高津中学校や萱田中学校へ通い続けることになります。さらに災害時には地域の避難所になるなど、地域コミュニティの中心になる学校が緑が丘地域に不足していることは解消されません。

子どもたちのために、八千代市の未来のためにも

子どもたちが安心して学校へ通える街づくりによって、誰もが暮らしたくなるような街になるのではないのでしょうか？ しかし八千代市は、2022年3月末に米本小学校と米本南小学校を廃止し、米本団地から小学校を無くしてしまっています。

日本共産党は、地域コミュニティの中心になる小中学校が適切に配置され、もっと暮らしやすい八千代市にするために引き続き求めていきます。

緑が丘周辺の中学校から1kmの目安と小学校配置図



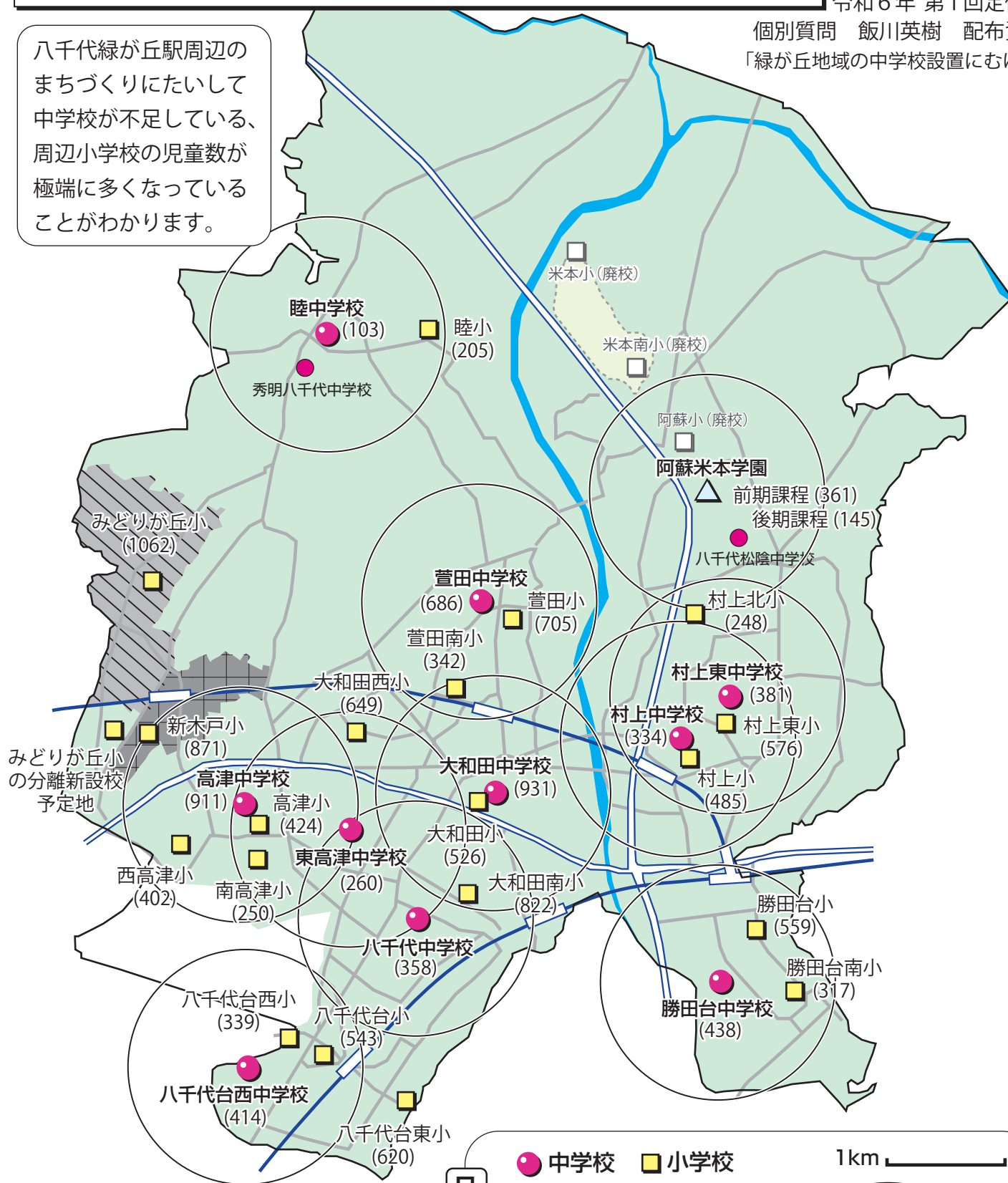
八千代市内の中学校から1kmの目安と小学校配置図

令和6年 第1回定例会

個別質問 飯川英樹 配布資料

「緑が丘地域の中学校設置にむけて」

八千代緑が丘駅周辺のまちづくりにたいして中学校が不足している、周辺小学校の児童数が極端に多くなっていることがわかります。



★この資料について★

2024年 第1回定例会(3月議会)にて日本共産党の飯川英樹議員が個別質問の際に配布した資料をもとに単色印刷時に見えやすく加工したものです。また、資料中の児童生徒数は2023年5月1日現在のデータです。

凡例

● 中学校 ■ 小学校

△ 小中一貫校

※括弧内は児童および生徒数



緑が丘西地区

西八千代北部土地区画整理事業
施行面積(140.5ha)
総事業費 37,837,155 千円



緑が丘東地区

西八千代東部土地区画整理事業
施行面積(50.8ha)
総事業費 23,554,400 千円

1km

←1km→

中学校から半径1kmの目安